



「新しい音楽」のその後

ジュリオ・カッチーニ、その娘たちと影響を受けた音楽家たち

愛の喜び 恋の悲しみ

16世紀末のフィレンツェで生み出され、音楽史的な転換点になったモノディはイタリア中で大流行し、さまざまな作曲家たちがモノディの形式を使ってさらに劇的な音楽の数々を打ち上げていった。

モノディの立役者カッチーニの娘たちもその中に含まれる。

愛を語る歌の数々を通じて人間の感情表現に果敢な挑戦を続けた17世紀前半のイタリアの作曲家たちの熱い聲に耳をすませば…

【出演】 原 謡子 (ソプラノ) 笠原雅仁 (バリトン／テオルボ) 杉本周介 (チェンバロ)

【演奏曲目】

ジュリオ・カッチーニ
Giulio Caccini (1551-1618)

「新しい音楽とそれを書き記す新しい方法」(1614年)より
その熱きため息に A quei sospir ardenti
ああ、戻りきたれ Torna, deh torna

フランチェスカ・カッチーニ
Francesca Caccini (1587-1640)

「音楽 第1巻」(1618年)より
ここで独りにして Lasciatemi qui solo

フランチェスコ・カヴァッリ
Francesco Cavalli (1602-1676)

歌劇「アポロとダフネの愛」(1640年)より
アポロの嘆き Lamento d' Apollo

他

【日時】 第1公演 2022年7月30日(土) 13:00開場 | 13:30開演

第2公演 2022年7月31日(日) 15:30開場 | 16:00開演

【会場】 studioR (定員30名様) 長野県諏訪郡原村 八ヶ岳自然文化園正門前

〈一般前売り〉 3,500円 〈当日〉 3,800円

★ご予約・お問い合わせ

ムジカ・ロゼッタ Tel. 070-4430-0666

<https://musicarosetta.com>

info@musicarosetta.com

公演お申し込みフォームQRコード→



原 謡子
(ソプラノ)



笠原雅仁
(バリトン／テオルボ)



杉本周介
(チェンバロ)

新型コロナウイルス
感染予防対策への
ご協力をお願い

・当日発熱等の風邪の症状を自覚される方、または後援2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した方と濃厚接触された方は入場をご遠慮ください。
・開場へのご入場の際はマスクの着用をお願い申し上げます。検温及び手指の消毒にご協力ください。
・公演直前の感染状況によりやむをえず公演を中止する場合がございます。